

クイック・スタート・ガイド

この資料は、DataPower アプライアンスのモジュールを初めて使用するとき役に立ちます。

製品の概要

IBM® は、DataPower® アプライアンスのモジュールを提供します。モジュールのフィーチャーを使用するには、モジュールをアクティブ化する必要があります。一部のフィーチャーとモジュールでは、現行ファームウェア・イメージを再インストールして、それらのライブラリーをインストールする必要があります。

1 ステップ 1: ソフトウェアへのアクセス



モジュール・パッケージは、IBM Passport Advantage®から取得します。それらには、以下のコンポーネントが含まれます。

- モジュールをアクティブ化するためのツール。
- リソース・キット。
- この PDF 文書。

マシン・タイプおよびモデルに応じて、モジュールをアクティブ化するためのツールには、以下のファイル・フォーマットがあります。

- `product-activate-module-date.scrpt3`
- `product-activate-module-date.scrpt4`

ここで、*product* はアプライアンス・モデル、*module* はアクティブ化されるモジュール、*date* はツールが作成された日付を表します。

2 ステップ 2: モジュールのアクティブ化



モジュールをアクティブ化するには、次の手順に従います。

1. コントロール・パネルで、「システム制御」をクリックします。
2. 「ブート・イメージ」セクションを見つけます。
3. アクティベーション・ツールをアプライアンスにコピーします。
4. モジュールのフィーチャーをアクティブ化します。
 - a. 「ファームウェア・ファイル」リストから、アクティベーション・ツールを選択します。
 - b. 「使用条件の条項に同意します」チェック・ボックスを選択します。
 - c. 「ブート・イメージ」をクリックします。
 - d. プロンプトに従います。アプライアンスは再始動されません。
5. オプション: 別のモジュールのフィーチャーをアクティブ化するには、前の手順を繰り返します。
6. すべてのフィーチャーを有効にするために、アプライアンスを再ロードします。

3 ステップ 3: モジュール・ライブラリーのインストール



以下のフィーチャーとモジュールの場合に限り、現行ファームウェア・イメージを再インストールして、それらのライブラリーをインストールする必要があります。

- データベース接続フィーチャー向け Oracle 拡張サポート
- TIBCO EMS モジュール

インストール・プロセスは、アクティブ化されたモジュール用のファームウェア・イメージにライブラリーをインストールします。ファームウェア・イメージは、IBM Fix Central から無償で入手することができます。

ファームウェア・イメージをインストールするには、次のようにします。

1. コントロール・パネルで、「システム制御」をクリックします。
2. 「ブート・イメージ」セクションを見つけます。
3. ファームウェア・イメージのファイルをアプライアンスにコピーします。
4. 「ファームウェア・ファイル」リストから、ファームウェア・イメージのファイルを選択します。
5. 「使用条件の条項に同意します」チェック・ボックスを選択します。
6. 「ブート・イメージ」をクリックします。
7. プロンプトに従って完了します。アプライアンスが再始動されます。

4 ステップ 4: 始めに



モジュールを使用するために、WebGUI に再度ログインします。

詳細情報



詳しくは、IBM Knowledge Center (<http://ibm.com/support/knowledgecenter/SS9H2Y>) の IBM DataPower Gateway 資料を参照してください。